

現代日本語形容詞の多義構造

——形容詞多義語における第一義の条件(その2)——

丹 保 健 一

The Polysemic Structure of Japanese Adjectives

Ken-ichi TANBO

注: 本稿は「現代日本語形容詞の多義構造 - 形容詞多義語における第一義の条件-」
〔三重大学教育学部紀要研究紀要第44巻(人文・社会科学)〕に続くものである。

IV-2. 「あまい(甘い)」の辞書に見られる多義記述

(以下、紙幅の関係上、(7)「三国」以降の記述は省略する。表もこれに従う。)

(1)「学研」11

- ①糖分のもっている味である。「今夜のコニャクさえ、舌にーければ〜」
- ②〔料理で〕塩気が少ない。「ーい味噌」
- ③〔においが〕糖分を思わせるようだ。「〜金木犀は、まだそのーい匂いを〜」
- ④心がとけるようだ。楽しい。「〜くすぐるような音楽が〜」「なにかーい話でも〜」「〜い感傷に浸る〜」
- ⑤人を喜ばせてさそいこむようだ。「ーい誘惑を〜」「〜い女の声が〜」
- ⑥〔男女間の〕愛情が細やかである。「ーい関係」
- ⑦〔しつけ・採点などが〕きびしくない。親切で、なんでもうけいれる。「女にーい」「〜い父となった」
- ⑧深く考えない。考えがたりない。のんきである。「信仰とは、そんなーいたわいもないもの〜」「現実の政治とはそんなーいものではありません」「〜事態をーく考えていた〜」「お前ーいねえ〜」
- ⑨大したものではない。「〜相手をーく見た態度で〜」
- ⑩〔刃物の〕切れ味が悪い。にぶい。
- ⑪びったり合わない。ゆるい。「ねじがーくなる」

(2)「岩波」4(6)

- ①砂糖・みつなどの糖分の味がする。②糖分の味を思わせる。③人の気に入りそうな言い方だ。④きつい感じがしない。鋭くない。イ. てぬるい。きびしくない。ロ. だらしがない。ハ. 切れ味が悪い。

(3)「例解」6

- ①砂糖や蜜のような味だ。②親しみやすく、とろけるようだ。③塩気がない、また、そのためにものたりない感じがする。④ものごとに対する態度がゆるやかである。きつくない。⑤自分につごうのよい見かたをして満足している。⑥しっかりしていない。じゅうぶん役目ははたさない。

(4)「現代」6

①砂糖や蜜などの糖分の味がある。②塩気が薄い。辛くない。③心がとろけるように、うっとりとい。④厳格でない。⑤しっかりしていない。⑥刃物の切れ味が悪い。

(5)「三現」9

①砂糖のような味だ。②塩気が足りない。③ [におい・声などの感じが] うっとりするようだ。④人をうれしがらせるような言い方だ。⑤よしあしのきめ方がてぬるい。⑥きびしくない。⑦しっかりしていない。⑧ゆるんでいる。⑨切れ味が悪い。

(6)「新明」4

①砂糖や蜜のように舌をとろかす味だ。[広義では、かいだり聞いたりして、いい感じを得られることにも言う。] ②煮物や汁物の塩気が薄・い(くて物足りない)感じだ。③きびしさ、鋭さが足りない感じだ。④相場がいくらか下がり気味だ。

IV-2-1. 各辞書類の意味立項配列

F2-A 各辞書に見られる意味立項の分布

①糖分のもっている味である。② [料理で] 塩気が少ない。③ [においが] 糖分を思わせるようだ。④楽しいという感情・心情を起こさせる。⑤喜んで誘い込まれるという感情・心情を起こさせる。⑥ [男女間の] 愛情が細やかだ。⑦ [しつけ、採点などが] きびしくない。⑧深く考えない。のんきだ。⑨対象を大したものではないとする態度をとる。⑩ [刃物の] 切れ味が悪い。⑪びったり合わない。ゆるい。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	その他
学研 (11)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
岩波 (4)	1		2	3?	3?		4	4				3
例解 (6)	1	3		2			4?	5		6?	6?	
現代 (6)	1	2		3		4	5		6			
三現 (9)	1	2	3		4		5,6	7		9	8	
新明 (4)	1	2	1				3	3				4

注：表中の数値は各辞書の語義立項番号を表す。(以下同じ)

注：イロハニは下位分類を示す。(以下同じ)

IV-2-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F2-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-2-3. 各意味立項の意味特徴

(1) 各語義の意味特徴一覧

- ① a 語義 1: (私は) 糖分の味を感じる。 甘味<味覚<感覚<性向
- b 語義 2: 糖分の味をもっている。 甘味<味覚<刺激<性状
- ・ 格体制・必須要素: [Nガ] (注: Nは名詞又は名詞相当句を表す。以下同)
- ・ 典型的形容主体: 食べ物<b 具体物<i 物<βモノ
- ・ イメージ: +

現代日本語形容詞の多義構造

- ② a 語義 1 : (私は) 塩気が少ない味を感じる。 薄い塩味<塩味<味覚<感覚<性向
 b 語義 2 : 塩気が少ない。 薄い塩味<塩味<味覚<刺激<性状
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・典型的形容主体 : 塩味のある料理<料理<食べ物< b. 具体物<イ物<βモノ (←強限定)
 ・イメージ : +-
- ③ a 語義 1 : 糖分を思わせるような香りを感じる。 甘い香り<臭覚<感覚<性向 (←強限定)
 b 語義 2 : 糖分を思わせるような香りを持っている。 甘い香り<臭覚<刺激<性状 (←強限定)
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・典型的形容主体 : におい・香り<属性<e属性<ウ事<γコト (←強限定)
 ・典型的属性本体: イ物>βモノ
 ・イメージ : +
- ④・語義 : 楽しいという感情・心情を起こさせる <状態<性状
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・典型的形容主体 : αヒト、βモノ、γコト
 ・イメージ : +
- ⑤・語義 : 喜んで誘い込まれるという感情・心情を起こさせる 状態<性状
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・典型的形容主体 : αヒト、βモノ、γコト
- ⑥・語義 : 愛情が細やかだ <心様<性向
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・形容主体 : (人の) 愛情関係 < f 副属<ウ事<γコト (←強限定)
 ・イメージ : +
- ⑦・語義 : きびしくない <対人態度<態度<性向
 ・格体制・必須要素 : [N1ガN2ニ]
 ・典型的形容主体 (N1) : 人<ア人<αヒト
 ・相手 (N2) : 人<a. 有意志体<ア人<αヒト
 ・イメージ : - (←イメージの添加)
- ⑧・語義 : のんきだ。<性質<性向
 ・格体制・必須要素 : [N1ガ(N2ニ)] (注 : 以下実際の表現において省略可能なものを () で示す。)
 ・典型的形容主体 (N1) : ア人<αヒト
 ・イメージ : - (←イメージの逆転化)
- ⑨・語義 : 対象を大したものではないとする態度をとる<態度?<性向
 ・格体制・必須要素 : [N1ガ(N2ニ?)]
 ・典型的形容主体 (N1) ? : ア人?<αヒト
 ・イメージ : - (←イメージの逆転化)
 ・形態的制限 : 副詞形・連用形 (←強制限)
- ⑩・語義 : 切れ味が悪い<評価?<性状
 ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 ・典型的形容主体 : 切れ味・刃物の機能<機能<ウ事<γコト (←強限定)

・イメージ：－（←イメージの逆転化）

⑩・語義：ゆるい<状態?<性状

・格体制・必須要素：[N1ガ(N2ガ)]、[Nガ]

・典型的形容主体(N1)：締めるもの、固定するもの<道具<b具体物<i物<βモノ（←強限定）

・典型的形容主体(N)：（締める機能を持つ道具の）機能実行の状態・機能<ウ事<γコト（←強限定）

・イメージ：－?（←イメージの添加）

IV-3. 「おおきい（大きい）」の辞書に見られる多義記述

(1)「学研」7

①[かさ・広さ・長さなどが] たくさんの場所を占める。「～頬に－・い疣のあった～」 「～破損の箇所は意外に－・く～」

②[数・量・程度などが] 多い。はなはだしい。「分子が分母より－・い分数」 「～音が－・くなったり～」 「～期待や熱意のほうが一・きかった～」 「～騒ぎが一・くなくなってしまった」

③範囲が広い。「－・い計画」 「物の考えが一・い」

④年齢が上である。おとなである。また、すぐれている。「～そうして間もなく－・い師匠のあとを～」 「～彼が生まれて－・くなくなった町～」

⑤重要である。「～もっと－・く恐ろしいものの為に～」

⑥こせつかずゆとりがある。心が広い。「人物が一・い」 「(野々村の作品には) ～－・い処があった」

⑦おおげさである。「～－・く出たね～」

(2)「岩波」3(5)

①物の形、量、事柄の度合が、同類の(平均的な)ものを越えてうまわまっている。イ. 体積、面積などが、たくさんの場所を占める。ロ. 数、量、程度などがはなはだしい。ハ. 年齢が上である大人だ。ニ. 規模がまさっている。範囲が広い。包容力がある。②事実や身分・能力に比べ、大げさだ。③「く」の形でえらぶって。

(3)「例解」5

①ものの面積や体積、あるいはものごとの規模や範囲などが、ほかののに比べてうまわまっている。②数値がほかより上である。③子どもどうし比べてみて、年齢が上である。また、大人である。④程度がはなはだしい。⑤言うことやすることがおおげさである。

(4)「現代」7

①(物の形について) 空間を占める容積や面積が大である。②数量や音量がおおい。③規模が広い。盛んである。④程度が甚だしい。大変である。⑤成長している。年長である。⑥大げさである。また、偉ぶっている。⑦価値がある。重大である。

(5)「三現」9

①かさが多い。②ひろい。③ふとい。④[数、量、程度などが] 多い。はなはだしい。⑤年上である。⑥心が広い。⑦おおげさである。⑧えらぶっている。⑨重要である。

(6)「新明」1

①[二つ以上の物が、なんらかの条件で比較できる場合] その比較対象を包み込んだと想定した時、一方[＝主格]が他方[＝比較対象]をその中に包み、なおかつ余りが有るようにすることが出来る様子だ。

IV-3-1. 各辞書類の意味立項配列

F 3-A

① [かさ・広さ・長さなどが] たくさんの場所を占める。② [数・量・程度などが] 多い。はなはだしい。③範囲が広い。④年齢が上である。おとなである。また、すぐれている。⑤重要である。⑥こせつかずゆとりがある。⑦大袈裟だ。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	その他
学研 (11)	1	2	3	4	5	6	7	
岩波 (4)	1		2				4	3
例解 (6)	1	3		2			4?	
現代 (6)	1	2		3		4	5	
三現 (9)	1	2	3			7	6	
新明 (4)	1	2	1				3	4

IV-3-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F 3-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-3-3. 各意味立項の意味特徴

(1) 各意味立項の意味特徴一覧

- ①・語義：[かさ・広さ・長さなどが] たくさんの場所を占める。〈形状〈性状〉
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体・本体：ア人、イ物〈 α ヒト、 β モノ
 - (注：彼は(背が) [彼の背が] 大きい。のように、N1ガ(は) N2ガ〜において、N2がN1の属性の一つを表し、かつ省略可能である場合、N1を以下、主体・本体ということにし、N2を属性名と称したい。)
 - ・イメージ：+- (+の場合が多いであろう。)
- ②・語義：[数・量・程度などが] 多い。はなはだしい。〈数量〈性状〉
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体：数、量、程度〈f 副属〈ウ事〉 γ コト (←強い限定)
 - ・イメージ：+-
- ③・語義：範囲が広い。〈状態・形状?〈性状〉
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体：〈c 抽象物、d 活動、e 属性〉ウ事〈 γ コト
 - ・イメージ：+-
- ④・語義：年齢が上である。おとなである。また、すぐれている。〈身体、才能〈性向〉
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体・本体：人〈a 有意志体〈ア人〉 α ヒト
 - ・イメージ：+ (←+イメージの添加)
- ⑤・語義：重要である。〈評価〈性状〉
- ・格体制・必須要素：[Nガ]

- ・典型的形容主体： α ヒト、 β モノ、 γ コト
 - ・イメージ：+（←+イメージの添加）
- ⑥・語義：こせつかずゆとりがある。心が広い。＜性質・心様＜性向
- ・格体制・必須要素：
 - （[N1ガ（は）N2ガ]において、N1がその属性を持つものの本体（所有主）である場合、以下N1を本体、N2を属性主と呼ぶことにする。）
 - ・典型的形容本体（N1）：人＜a有意志体＜ア人＜ α ヒト
 - ・典型的形容属性主（N2）：（人の）作品、（人の）心等＜物、様＜ α ヒト、 β モノ、 γ コト
 - ・イメージ：+（←+イメージの添加）
- ⑦・語義：大袈裟だ。＜態度＜性向
- ・格体制・必須要素：[（N2ガ（は））N1ガ]
 - ・典型的形容主体（N2）：ア人＜ α ヒト
 - ・典型的形容主体（N1）：07人間活動＜d活動＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：-（←-イメージの添加）

IV-4 「重い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」3

①そのものを持ち上げようとするときに、多くの力を要する。ある物を基準にして、それより目方がある。また、そのような感じである。「目方が-・い」「彼より2キロ-・い」「～麗子の腕に-・くのしかかった」「～-・い足を運んだ」「-・足どり」「～宗やんの言葉はまだ心に-・く～ますます-・く心に澱んでくる～」「-・い足音」「～口が-・く」「まぶたが-・い」②[気分が]はればれしない。不快だ。「気が-・い」「～頭が-・くて～」③程度がはなはだしい。ひどい。また、重要である。「-・い病気」「-・い傷」「-・い前借をしている～」「～-・い罰を科する」「-・い罪」「-・い責任」「-・い地位」「～そんなに-・く見て居ず」

(2) 「岩波」2 (3)

①目方が大きい。②程度がはなはだしい。イ. 大切だ。重大だ。ロ. 容易なことではない。

(3) 「例解」5

①ものを持ちあげたり、動かしたりするのに、大きな力がある感じだ。②心に負担が感じられる。③気分が悪い。④動きがにぶい。⑤程度が大きく、重大である。

(4) 「現代」5

①目方が多い。重量がある。②物事の程度が甚だしい。並々でない。③身分が高い。また、重要である。④気持ち晴れ晴れとしない。⑤動き、働きがにぶい。

(5) 「三現」5

①めかたが多い。②[からだなどを]動かすのが、おっくうだ。③気分がはればれしない。④程度がはなはだしい。⑤たいせつだ。

(6) 「新明」4

①そのものをささえ持つのに大きな力を必要とする・状態（感じ）だ。②「重い」物・で押さえられて（を持って）いるようで、のびのびしない・様子（感じ）だ。③程度が水準以上で、容易ではない様子だ。④[地位・身分などが]高く責任のある状態だ。

IV-4-1. 各辞書類の意味立項配列

F4-A

- ①目方がある。②心に負担がある。気分が悪い。不快だ。③程度が大きい。④容易に動かない。(有意志) ⑤にぶい。(無意志) ⑥重要である。(＋イメージ) ⑦おごそかである。重々しい。(＋イメージ)
⑧音が重量感を感じさせる様子だ。

辞書	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	その他
学研(3)	1	2	3	1	2	3	3	1	
岩波(2)	1		2	2		2イ	2		2ロ
例解(5)	1	2,3	5		4	5			
現代(5)	1	4	2		5	3			
三現(5)	1	3	4	2		5			
新明(4)	1			2	2				3, 4

IV-4-2. 形容主体を表す語彙(具体例より)

F4-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-4-3. 各意味立項の意味特徴

(1) 各多義(意味立項)・クラスターの典型的意味特徴

- ① a 語義：重さを感じる。：感覚<性向
b 語義：目方がある。：実質<性状
・格体制・必須要素：[Nガ]
・典型的形容主体： α ヒト、 β モノ
・イメージ：+-
- ②・語義：心に負担を感じる。気分が晴れ晴れしない：心様<性向
・格体制・必須要素：[(N2ガ(は))N1ガ]
・典型的形容主体(N2)：ア人< α ヒト
・典型的形容属性主(N1)：属性?<ウ事< γ コト
・イメージ：-
- ③・語義：程度が大きい。：程度<性状
・格体制・必須要素：[Nガ]
・典型的形容主体： γ コト
・イメージ：+-
- ④・語義：容易に動かない。(有意志)：性質<性向
・格体制・必須要素：[N1ガ(は)N2ガ]
・典型的形容主体(N1)： α ヒト
・典型的形容属性主(N2)：07人間活動<d活動<ウ事< γ コト
・イメージ：-
- ⑤・語義：鈍い。(無意志)：性質<性向
・格体制・必須要素：[N1ガ(は)N2ガ]

- 典型的形容本体 (N1) : α ヒト
 - 典型的形容属性主 (N2) : 07人間活動<d 活動<ウ事< γ コト
 - イメージ : -
- ⑥・語義 : 重要である。 : 評価<性状
- 格体制・必須要素 : [N1ガ(は) N2ガ]
 - 典型的形容本体 (N1) : α ヒト
 - 典型的形容属性主 (N2) ウ事< γ コト
 - イメージ : +
- ⑦・語義 : おごそかである。重々しい。 : 刺激<性状
- 格体制・必須要素 : [Nガ]
 - 典型的形容主体 (N) : ア人、ウ事< α ヒト、 γ コト
 - イメージ : +
- ⑧・語義 : (音が) 重量感を感じさせる様子だ。 : 刺激<性状
- 格体制・必須要素 : [Nガ]
 - 典型的形容主体 (N) : 音、及び音に類する事< γ コト
 - イメージ : +-

IV-5 「可愛い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」3

- ①[息子・娘・妻・恋人などに対して] 深く愛する気持ちやたいせつにする気持ちをおこさせる。「～・い坊やで～」 「ばかな子ほど～・い」
- ②小さくて、または、子供っぽくて、ほほえましい気持ちをおこさせる。あいらしい。かわいらしい。「～双生児のような～・い一对の鍵だった」「～金蔴絵をし た～・い調度だの～」 「この～・い娘さんは～」 「まっくわって～・い名前だね」

(2) 「岩波」2 ①かわいらしい。(小さくて) 愛らしい。②愛して大事に思う。

(3) 「例解」1

- ①小さくて、愛らしい。好感やほほえましさを感じるようすについていう。②自分の子どもなど、をたいせつに思う。

(4) 「現代」1

- ①思わずほほえみたくなるほど愛らしい。また、小さくて、やさしく扱ってやりたい気持ちを起こさせるさまである。

(5) 「三現」2 ①深く愛し、たいせつに思う気持ちを起こさせるようす。②愛らしい。

(6) 「新明」1 ①じぶんより弱い立場にある者に対して保護の手を伸べ、望ましい状態に持って行ってやりたい状態だ。

IV-5-1. 各辞書類の意味立項配列

F5-A

- ①息子・娘・妻・恋人などに対して] 深く愛する気持ちやたいせつにする気持ちをおこさせる。②小さくて、または、子供っぽくて、ほほえましい気持ちをおこさせる。あいらしい。かわいらしい。③小さい物に対して。

現代日本語形容詞の多義構造

辞書 \ 意味	①	②	③	その他
学研(2)	1	2	2	
岩波(2)	2	1	2	
例解(1)	2	1	1	
現代(1)	1	1	1	
三現(2)	1	2		
新明(1)	1			

IV-5-2. 形容主体を表す語彙(具体例より)

F 5-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-5-3. 各意味立項の意味特徴

(1) 各意味立項の意味特徴一覧

① a 語義：(動物の赤ん坊、子どもなどに対して) 愛し慈しむ気持ちを覚える。〈感情〉性向

・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]

・典型的形容(・感受)主体(N2)：αヒト

・典型的形容対象(N1)：αヒト

・イメージ：+

b 語義：(動物の赤ん坊、子どもなどが) 愛し慈しむ気持ちを覚えさせる様子である。〈身体〉性向

・格体制・必須要素：[Nガ]

・典型的形容主体(N)：αヒト

・イメージ：+

② a 語義1：(動物の赤ん坊、子どもなどの) 部位や性格や行為に対してほほえましい気持ちを覚える。

〈感情〉性向

・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]

・典型的形容(・感受)主体(N2)：αヒト

・典型的形容対象(N1)：ウ事<γコト

・イメージ：+

b 語義2：(動物の赤ん坊、子どもなどの) 部位や性格や行為に対してほほえましい様子である。〈態度、性質〉性向

・格体制・必須要素：[Nガ]

・典型的形容主体(N)：ウ事<γコト

・イメージ：+

③ a 語義：(小さくて愛らしい物に対して) 小さくて愛すべき気持ちを覚える。〈感情〉性向

・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) (N1ガ)]

・典型的形容(・感受)主体(N2)：αヒト

・典型的形容本体(N1)：<βモノ

・イメージ：+

b 語義：(小さくて愛らしい物に対して) 小さくて愛すべき様子である。〈状態〉性状

- ・格体制・必須要素：[Nガ]
- ・典型的形容主体：イ物βモノ
- ・イメージ：+

IV-6 「寂しい」の辞書に見られる多義記述

(1)「学研」3

- ①ほしいものが得られず、物足りない。「口がーい」「ふところがーい」
- ②[人に相手にされなかったり、相手になる人がそこにいなかったりして]心が満たされず、楽しい気分になれない。「～なせ娘のことならわたしに言って下さらなかったのかとそれをーく思ったのです」「子供がなくてーかろうと～」「～優しい亭主があるのだから、決してー事は無い」「～ーいそんな捨鉢の調子が～」
- ③ひっそりしていたり、数が少なかったり、内容がとぼしかったりして、心細い。にぎやかさがなく、気が滅入るようだ。「～ーい通り」「おかずが味噌汁と 沢庵だけではーい」「～卓布の上にーく素麺が散らばって居た」「市全体が やけにーい」

(2)「岩波」1(2)

(本来の)活気が失せて、満ち足りない。イ。親しい人が居ないなどで、心が満たされず物悲しい。ロ。心細く感じられるほどの状態だ。にぎやかでない。

(3)「例解」2

- ①しずかで、はなやかさがなく、心ほそい感じを人に与える。②あってほしいものがなくて、満足できない。

(4)「現代」2 ①人の気配がなくて心細い。ひっそりしている。②満たされない気持ちである。物足りない。

(5)「三現」3

- ①たよりになる(親しい)人がいなくて、心が満たされないようす。②人声や物音がしないので、心細い。
- ③あればよいと思うものがなくて(・たりなくて)ものたりない。

(6)「新明」3

- ①自分と心の通いあうものがなくて、満足できない状態だ。②社会から隔絶されたような状態で、心細くなる感じだ。③あればよいと思うものがなくて、満ち足り無い感じだ。

参考：「IPAL」3

- ①(私は)心が満たされず、孤独であると感じている。
(意味分類1)感情
(意味分類2)心理;悲喜
- ②人を、孤独で心が満たされないような気持ちにさせる。
(意味分類1)属性
(意味分類2)心理;悲喜
- ③人の気配が少なく、ひっそりしている。
(意味分類1)属性
(意味分類2)生理・刺激+陰気陽気

IV-6-1. 各辞書類の意味立項配列

F 6-A

① a (私は) あってほしいもの、居てほしい人がいなくて、満たされない気持ちである。b (人が) あってほしいもの、居てほしい人がいなくて、満たされない様子である。②人を、孤独で心が満たされないような気持ちにさせる様子だ。③ある状態が物足りなくて、残念だ、または嘆かわしい、またはそのような様子を表す。

辞書 \ 意味	①	②	③	その他
学研 (3)	1, 2, 3			
岩波 (1)	1 イ		1 ロ	
例解 (2)	2		1	
現代 (2)	2		1	
三現 (3)	3	1	2	
新明 (3)	1 ?, 3			2

IV-6-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F 6-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-6-3. 各意味立項の意味特徴

(1) 各意味立項の意味特徴一覧

学研の語義区分・記述を重視してきているが、「寂しい」では「IPAL」の語義の考え方を参考にした。

- ① a 語義 1 : (私は) 心が満たされず、孤独であると感じている。感情<性向 (cf 心情)
- ・格体制・必須要素 : [(N 2 ガ (は)) (N 1 ガ)]
 - ・典型的感受主体 (N 2) : ア人<α ヒト
 - ・典型的形容対象 (N 1) : ウ事<γ コト
 - ・イメージ : -
- b 語義 2 : (人が) 心が満たされず、孤独であると感じている様子である。心様<性向
- ・典型的形容主体 (N) ア人、人間活動、部位、<α ヒト、γ コト
 - ・イメージ : -
- ②・語義 : 人を、孤独で心が満たされないような気持ちにさせる。状態<性状
- ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 - ・典型的形容主体 (N) : α ヒト、β モノ、γ コト
 - ・イメージ : -
- ③・語義 : ある状態が物足りなくて、残念だ、または嘆かわしい、またはそのような様子を表す。状態<性状
- ・格体制・必須要素 : [Nガ]
 - ・典型的感受主体 (N) : ウ事、エ所<γ コト
 - ・イメージ : - : (注 : マイナスイメージが伴わない場合もありそうだ。)
 - ・構文的制限 : 「～とは」「としては」の形を伴うことが多い。

IV-7 「高い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」11

- ① (ものの位置が) 上の方であって、基準の面(地面・海面・底面など)からのへだたりが大きい。「陽はすでにー・く昇って～」「天ー・く雲雀の鳴く～」「～ー・くはしょたりして」「目よりもー・く差し上げる」「頭がー・い」
- ② (ものの) 下端から上端までの長さが大きい。たけが長い。「ー・い木」「背がー・い」
- ③ 身分・地位が他より上にある。
- ④ 能力が他よりすぐれている。「ー・い見識」「性能がー・い」「目がー・い」
- ⑤ 品位・品格がりっぱである。「道也は人格において流俗よりー・いと～」「彼の哲学者のー・いところじゃないか～」「格調のー・い作品」
- ⑥ 一定の水準よりまさっている。「～生活水準がー・いから～」「～知性というー・いレベルで～」「～後期の口語訳をー・く買うもので～」
- ⑦ 程度・勢いなどがはげしい。また、数値が大きい。「波がー・い」「気味がー・い」「望みがー・い」「温度がー・い」「血圧がー・い」「緯度がー・い」
- ⑧ 声・音が耳に大きく聞こえる。「一層笑い声をー・くしながら～」「
- ⑨ よく聞こえている。有名である。「詩名はいよいよー・く～」「～天才の評判がー・かった～」「悪名がー・い」
- ⑩ 買うのに多額の金銭がかかる。量や質にくらべて値段が多い。「～ー・いお野菜を～」「～物価がー・いため～」
- ⑪ えらぶっている。[多く「おー・い」の形で使う]「～あなた様のようにおー・く許構えて～」

(2) 「岩波」2 (5)

- ① 規準とする面から上への距離が大きい。イ。(ずっと) 上方の位置にある。ロ、上端までの隔たりが大きい。② 他より著しい。イ、地位・格式・能力等がすぐれている。ロ、程度がはなはだしい。ハ、買うのに多くの金がある値段だ。

(3) 「例解」4

- ① 地面や底面など、規準になる面よりも、上の方にある。また、基準となる面とのへだたりが大きい。
- ② ほかのものごとよりも、等級や程度、価値などが上である。③ 音や声の振動数が多い。また、耳によく聞こえる。④ たいへんな金額だ。

(4) 「現代」8

- ① 空間的に上の方にある。② 音や声大きい。また、音声の振動大きい。高音である。③ 広く知れわたっている。④ 身分や地位が上位にある。⑤ 品位、理想、力量、機能などがすぐれている。⑥ 高慢である。多く「お高い」で用いる。⑦ 金のかかるさまである。⑧ 計測器の示す目盛りが上の方であって、度合が強い方である。

(5) 「三現」9

- ① 下かからの長さ(・高さ)が大きい。② 等級が上である。③ 能力などが優れている。④ ねうちが大きい。⑤ 目もりなどの数字が大きい。⑥ 声・音の振動数が多い。また、音声大きい。⑦ 程度がはなはだしい。⑧ よく知られている。⑨ かかる金額が大きい。

(6) 「新明」4

- ① 最下底の位置から一定方向への隔たりや距離が・大きい(長い)。② (そのものの程度が) 平均水準より上の状態だ。③ 耳に・良く(強く)聞こえてくる様子だ。④ その物の実際の価値に比べて、不釣合

なほど多くの金がある値段だ。

IV-7-1. 各辞書類の意味立項配列

F7-A 各辞書に見られる意味立項の分布

①基準の面（地面・海面・底面など）からのへだたりが大きい。位置が上の方にある。②下端から上端までの長さが大きい。たけが長い。③身分・地位が他より上にある。④能力が他よりすぐれている。⑤品位・品格がりっぱである。⑥一定の水準よりまさっている。⑦程度・勢いなどがはげしい。また、数値が大きい。⑧声、音が大きい。⑨よく知られている。⑩値段が高い。⑪えらぶっている。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	その他
学研 (11)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
岩波 (2)	1イ	1ロ	2イ	2イ	2イ	2イ	2ロ			2ハ		
例解 (4)	1		2	2?	2	2?		3		4		
現代 (8)	1		4	5	5	5?	8	2	3			6
三現 (9)	1	1	2	3			5,7	6	8	9		4
新明 (4)	1	1						2	3	4?		

IV-7-2. 形容主体を表す語彙（具体例より）

F7-B（実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。）

IV-7-3. 各意味立項の意味特徴

- ①・語義：基準の面（地面・海面・底面など）からのへだたりが大きい。位置が上の方にある。＜位置＜性状
- a 格体制・必須要素：[Nガ]
- ・典型的形容主体（N）：βモノ
 - ・イメージ：+-
- b 格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
- ・典型的形容本体（N2）：αヒト、βモノ
 - ・典型的形容対象（N1）：位置、腰、重心＜γコト
- ②・語義：下端から上端までの長さが大きい。たけが長い。＜位置？形状？＜性状
- a 格体制・必須要素：[N1ガ]
- ・典型的形容主体（N1）：木、ビル、塔等＜βモノ
 - ・イメージ：+-
- b 格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
- ・典型的形容本体（N2）：αヒト、βモノ
 - ・典型的形容属性主（N1）：身長、背等＜e 属性＜ウ事＜γコト
 - ・イメージ：+-
- （注：格体制aは考えなくてもよいのかもしれない。）
- （注：高い木。高いビル。）
- （注：この車は（色が）白い。白い色。のような形容詞語義の属性の種類・名称が予想でき、省略可

能なものについては格成分として記述はしない。

- ③・語義：身分・地位が他より上にある。＜境遇＜性向
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト
 - ・典型的属性主(N1)：身分、地位＜09人間属性＜e属性＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：+
- ④・語義：能力が他よりすぐれている。＜才能＜性向
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト
 - ・典型的属性主(N1)：才能、能力 09人間属性＜e属性＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：+
- ⑤・語義：品位・品格がりっぱである。＜性質＜性向
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト
 - ・典型的属性主(N1)：品位、品格 09人間属性＜e属性＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：+
- ⑥・語義：一定の水準よりまさっている。＜評価＜性状
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト、 β モノ、 γ コト
 - ・典型的属主(N1)：水準、レベル 評価注1? 副属?＜ウ事＜ γ コト
(注1：これはⅢ-2-1(1)にはない分類であるが、ウ事の下位分類の一つとしたいものの一つである。)
 - ・イメージ：+
- ⑦・語義：程度・勢いなどがはげしい。また、数値が大きい。＜程度＜性状
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト、 β モノ、 γ コト
 - ・典型的属性主・主体(N1)：程度、勢い＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：+
- ⑧・語義：声、音が大きい。＜程度? 刺激?＜性状
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的本体(N)：声、音等＜ウ事＜ γ コト
 - ・イメージ：+-
- ⑨・語義：よく知られている。＜評価＜性状
- ・格体制・必須要素：[(N2ガ(は)) N1ガ]
 - ・典型的本体(N2)： α ヒト
 - ・典型的属性主(N1)：評判＜ γ コト
 - ・イメージ：+
- ⑩・語義：値段が高い＜価値＜性状
- ・格体制・必須要素：[N1ガ(は) (N2ガ)]
 - ・典型的本体(N1)： β モノ、 γ コト

- ・典型的属性主 (N2) : 価値、値段<ウ事<γコト
- ・イメージ : +-
- ⑩・語義 : えらぶっている。<態度<性向
- ・格体制・必須要素 : [Nガ]
- ・典型的本体 (N) : αヒト
- ・イメージ : -
- ・形態的特徴 : 「お〜」(←形態的制約)

IV-8 「強い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」7

- ①力・技がすぐれていて、他に負けない。「腕っぶしがー・い」「将棋がー・い」「ー・いものが勝つ」「ー・いうちにも優しさがある」「ー・きをくじき〜」
- ②健康で、持久力がある。丈夫である。すこやかである。「ー・い体」
- ③しっかりとしてゆるがない。屈しない。少々のことでは参らない。「~自我のー・い我が儘な~」「ー・い信念を~」
- ④ゆるみがない。かたい。「ー・く締める」
- ⑤ [他を圧倒するほど] 勢いが激しい。また数値が大きい。「~風がー・かったら~」「~ー・い感覚の刺激を~」「~競争意識は非常にー・く」「文芸は芸術であるという考えがいまでも相当ー・いらしい」「度のー・い眼鏡」
- ⑥きびしい。「~ー・いことは言えなくなり~」「~ー・く出ながら、しかも傷つけない~」
- ⑦<「...にー・い」の形で>
 - イ. ...にかけては能力などがすぐれている。...が得手である。
 - ロ. ...に耐える力が十分ある。...にあって屈しない。

(2) 「岩波」2 (3)

(しんがしっかりしていて) 力が豊かだ。①積極的に働く力にあふれている。イ. しとげる腕力・能力が十分にある。ロ. 勢い・作用が激しい。②抵抗力に富み、簡単に壊れたりくずれたりしない。

(3) 「例解」3

①他と比べて、力や能力がすぐれている。②他へはたらきかける力やいきおいが大きい。③なにかにたえる力が大きい。

(4) 「現代」5

①枝や能力がすぐれ、他に負けない。②勢いがある。程度が甚だしい。③頑丈で耐える力がある。丈夫である。④意志が堅く、ゆるぎがない。他に屈しない。⑤ゆるみがない。堅い。

(5) 「三現」7

①力がある。②からだがじょうぶだ。③気持ちがしっかりしている。④勝ち気である。⑤程度がはなはだしい。⑥きびしい。⑦(「~に」の形で) ふつうよりすぐれた能力をもっているようす。

(6) 「新明」3

①相手・(困難や障害)にうち勝つすぐれた能力が有る様子だ。②勢いがある、なかなか衰えない。③支配的であり、否定、無視出来ない勢いを持つ様子だ。

IV-8-1. 各辞書類の意味立項配列

F 8-A

①力・技がすぐれていて、他に負けない。②健康で、持久力がある。丈夫である。すこやかである。③しっかりとてゆるがない。屈しない。少々のことでは参らない。④ゆるみがない。かたい。⑤ [他を圧倒するほど] 勢いが激しい。また数値が大きい。程度が甚だしい。⑥きびしい。⑦<「...にーい」の形で>イ。...にかけては能力などがすぐれている。...が得手である。ロ。...に耐える力が十分ある。...にあって屈しない。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	その他
学研 (7)	1	2	3	4	5	6	7	
岩波 (2)		2	1イ		1ロ			
例解 (3)	1		3		2			2
現代 (5)	1	3	4	5	2			
三現 (7)	1?	2	3		5	6	7	4
新明 (3)	1				2			3?

IV-8-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F 8-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-8-3. 各意味立項の意味特徴

- ①・語義：力・技がすぐれていて、他に負けない。身容、能力<性向
 - ・格体制・必須要素：[N1ガ(は)N2ガ]
 - ・典型的形容本体(N1)：αヒト
 - ・典型的形容属性主(N2)：ウコト<γコト
 - ・イメージ：+
- ②・語義：健康で、持久力がある。丈夫である。すこやかである。身容<性向
 - ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体(N)：αヒト
 - ・イメージ：+
- ③・語義：しっかりとてゆるがない。屈しない。少々のことでは参らない。性質<性向
 - ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体(N)：αヒト
 - ・イメージ：+
- ④・語義：ゆるみがない。かたい。状態<性状
 - ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体(N)：ウ事<γコト
 - ・イメージ：+-
- ⑤・語義：[他を圧倒するほど] 勢いが激しい。また数値が大きい。状態<性状
 - ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体(N)：ウ事<γコト

- ・イメージ：+-
- ⑥・語義：きびしい。態度<性向
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
- ・典型的形容主体(N)：
- ・イメージ：+-
- ⑦<「...に-・い」の形で>
- イ. ...にかけては能力などがすぐれている...が得手である。能力<性向
- ロ. ...に耐える力が十分ある...にあって屈しない。能力<性向
- ・格体制・必須要素：[N1ガ2二]
- ・典型的形容主体(N1)：αヒト
- ・典型的対象(N2)：ウ事<γコト
- ・イメージ：+

IV-9 「無い」の辞書に見られる多義記述

(1)「学研」3

- ① [物・事のように、心をもたないものが] 存在しない。「～味の-・い夕食を～」[生家へ帰る意志が-・いからだ。]「～名も-・い人々から～」[～という保証はなにも-・い～]「食欲はやっぱりあまり-・い～」[～星が-・。～] 参考：特例として次のように主語が有心物の場合にもいう。
- イ. 所有されていない、の意。「子供が-・くて～」[～身寄りが-・い～]
- ロ. 有無が問題にされ、存在しない、の意。「賛成するものも-・。」「神も仏も-・い人生～」
- ハ. 物のように意志を持たないもののように見る場合、「～道に人は-・かった。」
- ②もっていない。「～お金は1銭も-・い。」
- ③ [すでに死んで] この世にいない。「-・い母以上に～」

(2)「岩波」1?

- ①「ある」の打ち消し。あるとは認められない状態。

参考：「岩波」ある 2

①目の前に見えるとか触れて固さを感じるとか、何らかの感じをその人に起こさせるものを認めると共に、他の人もそれを認めるだろうと期待する(信ずる)場合、また、感覚を越えたものについても、思考の対象としてこれに似た状況が考えられる場合に、そのものが「ある」という。あるということは、直接的には右のような仕方を通して捉えるから、当の事物が我々の世界に現れること、そのものとして持続すること、どの位置かを占めること、何かとの特定関係(特に所有関係)に立つこと等を、結果的に表す。②特に、次のようなあり方を言う。イ. この世に生きている。ロ. 生活する。暮らす。ハ. <数量を表す語を受けて>その分量が認められる。ニ. 時の経過がある。時がたつ。ホ. <引用の「と」またはそれに当たる表現を受けて>(… という)言葉がある。ヘ. それに依存する。ト. <動作を表す漢語や動詞連用形を受けて>なさる。③<他動詞連用形+「て」を受けて>動作結果の現存を意味する。

- (3)「例解」2 ①「無い」存在しない。持っていない。②「亡い」すでに死んでこの世にいない。
- (4)「現代」2 ①事物が存在しない。②(亡)人がこの世にいない。③比べるものがない。
- (5)「三現」3 ①存在しない。②もっていない。③とぼしい。不足だ。
- (6)「新明」1 ①そこに物事存在を認めることが、普通の意味では困難だ。

IV-9-1. 各辞書類の意味立項配列

F 9-A

① [物・事のように、心をもたないものが] 存在しない。②もっていない。③ [すでに死んで] この世にいない。

辞書 \ 意味	①	②	③	その他
学研 (3)	1	2	3	
岩波 (1)	1			
例解 (2)	1ハ		1イ	1ロ, ニ, ホ, ト
現代 (2)	1	1		「亡い」は別項目
三現 (3)	1	2		3
新明 (1)	1			

IV-9-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F 9-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-9-3. 各意味立項の意味特徴

- ①・語義: [物・事のように、心をもたないものが] 存在しない。数量? 存在? <性状?
 - ・格体制・必須要素: [Nガ]
 - ・典型的形容主体 (N): イ物、ウ事 <βモノ、γコト
 - ・イメージ: +-
- ②・語義: もっていない。数量? 所有? <存在? 性状?
 - ・格体制・必須要素: 「(N2ニ(は)) N1ガ」
 - ・典型的形容主体 (N2): αヒト
 - 所有主 (N2): αヒト
 - 被所有物 (N1): 物事一般 <αヒト、βモノ、γコト
 - ・イメージ: +-
- ③・語義: [すでに死んで] この世にいない。<存在 (注: 形容詞の語義範疇には上げなかったものである。)
(←単なる非存在ではない、非存在の理由が意味となっている。)
- ・格体制・必須要素: [Nガ]
- ・典型的形容主体 (N): ア人 <αヒト
- ・イメージ: +-

IV-10 「難しい」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」5

- ①わかりにくい。理解しにくい。「～と、～・いことを持ち出して～」 「～・い文章」
- ②複雑で、やっかいである。
 - イ. 解決しにくい。「～、事を～・くしている～」 「～・く考えるな」
 - ロ. [なしとげるのが] 容易でない。いろいろと面倒である。困難である。「～お妾の生活って～、い

現代日本語形容詞の多義構造

らしい～」「～・い手続き」

- ③ [病気が重く] 回復のみこみが (ほとんど) ない。「おれはね、もう～・いんだって云って～」
- ④ [人のいうことを] 簡単に聞き入れない。苦情・不満が多い。「食べ物に～・い人」
- ⑤不機嫌で近づきにくい。「～母は常になく～・い顔を～」

(2) 「岩波」 2 (5)

①簡単には始末がつけられない (有様だ)。イ. 解決しにくい。しとげがたい。ロ. 手数が掛かったり正確さについて厳しい条件があったりして、やっかいだ。ハ. 直りにくい。ニ. (なにかにつけ) 難癖をつけ、苦情が多い。②きげんが悪い (表情だ)。

(3) 「例解」 5

①わかりにくい。②なかなかできない。まとまりにくい。③わずらわしい。めんどうだ。④きげんがわるい。また、そう感じられてとりあつかいにこまる。⑤病気やけががひどくてなおりにくい。

(4) 「現代」 6

①不快な表情や態度をあらわに見せている。②ごたごたとして煩わしいさま。面倒だ。③回復しにくいほど病気が重いさま。④理屈や論理が複雑で理解しにくいさま。⑤困難でおぼつかないさま。⑥理屈がちであったりして気軽に接しにくいさま。

(5) 「三現」 5

①わかりにくい。②なかなかできない。やっかいだ。③困難だ。めんどうだ。④きげんがわるい。⑤つきあいにくい。

(6) 「新明」 4

①理解したり解決したり仕上げたりするのに手間がかかる様子だ。②理解させたり承知させたりするのに手間がかかる様子だ。気むずかしい。③切り抜けたりいい状態にするのに、どうしたらいいか分からないほどだ。④手間がかかって、いやだ。

IV-10-1. 各辞書類の意味立項配列

F10-A 各辞書に見られる意味立項の分布

①分りにくい。理解しにくい。②複雑でやっかいである。(イ. 解決しにくい。ロ. なしとげるのが容易でない。いろいろと面倒である。困難である。) ③ (病気が重くて) 回復のみこみが (ほとんど) ない。④ [人のいうことを] 簡単に聞き入れない。苦情・不満が多い⑤不機嫌で近づきにくい。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	⑤	その他
学研 (5)	1	2	3	4	5	
岩波 (2)	1	1イ, ロ	1ハ	1ニ	2	
例解 (5)	1	2, 3	5		4	
現代 (6)	4	2, 5?	3	6	1	
三現 (5)	1	2, 3		5	4	
新明 (4)	1	2, 3		5?	4	

IV-10-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F10-B (実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-10-3. 各意味立項の意味特徴一覧

- ①・語義：分かりにくい。理解しにくい。状態？＜性状？
- ・格体制・必須要素：「(N2ニ(は)) N1が」
 - ・典型的形容主体：(N2)；βモノ、γコト
 - ・典型的形容対象(N1)：ア人＜αヒト
 - ・イメージ：－
- ②・語義：複雑でやっかいである。(イ. 解決しにくい。ロ. (なしとげるのが) 容易でない。いろいろと面倒である。困難である。) 状態？＜性状？
- ・格体制・必須要素：[Nガ]、
 - ・典型的形容主体(N)：βモノ、γコト
 - ・イメージ：－
- ③・語義：(病気が重くて) 回復のみこみが(ほとんど) ない。＜身体＜性向
- ・格体制・必須要素：「(N2ガ(は)) N1が」
 - ・典型的形容主体(N2)：αヒト
 - ・典型的形容属性主(N1)：e属性＜ウ事＜γコト
 - ・イメージ：－
- ④・語義：[人のいうことを] 簡単に聞き入れない。苦情・不満が多い＜性質＜性向
- ・格体制・必須要素：[N1ガ]・「N1ガ(N2ニ)」？(←格体制の変化)
 - ・典型的対象(N1)：αヒト
 - ・典型的形容主体(N2)：ウ事＜γコト
 - ・イメージ：－
- ⑤・語義：不機嫌で近づきにくい。態度？性質？＜性向
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体(N)：αヒト
 - ・イメージ：－

IV-11 「安い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」4

- ① [質・量などのわりに] 値段が低い。「～切符がー・いと～」 「点数が返ってみると案外ー・い～」
- ② 不安や悩みなどがなく、心がおだやかである。また、心身に無理がなく、楽である。「～騙されている方が、気がー・い～」 「ー・い思いもなしに～」 「～身を 安楽椅子のー・きに託したる～」
- ③ 軽々しい。おそまつだ。下品だ。「～女中たちもー・くは取り扱わなくなった」 「見た所のー・い小柄の男で～」
- ④ <「おー・ない」の形で> 男女の間柄の親密なことをからかっていう語。「おー・くない話」

(2) 「岩波」2 cf (安い・易い) 3

- ① 気が楽に持てる状態だ。[安]イ. 質や量の割に値が低い。ロ. 心に悩みが無く、のびやかで静かだ。ハ. («お」をかぶせ、打ち消しを伴って) 男女の仲が親密なのをからかう言い方。②簡単にそうなるあり方だ。イ. 気楽に行える。たやすい。ロ. (動詞連用形について) とかくそうなる。～しがちだ。[易]
- ③ 軽々しい。[安]

(3) 「例解」1 ①金がすこししかかからない。

(4)「現代」5

①障害や不安がない。②気楽である。③安価である。④粗末に扱うようである。⑤（「お安くない」の形で）男女が特別の間柄にあるさま。また、それを冷やかして言う語。

(5)「三現」1 ①値段がひくい。

(6)「新明」2 ①予期されるよりお金が少ししか要らない状態だ。②（雅）平静だ。

IV-11-1. 各辞書類の意味立項配列

F11-A 各辞書に見られる意味立項の分布

①語義：「質・量などのわりに」値段が低い。②語義：不安や悩みなどがなく、心がおだやかである。また、心身に無理がなく、楽である。③語義：軽々しい。おそまつだ。下品だ。④語義：男女が特別の間柄にあるさま。また、それを冷やかして言う語。

辞書 \ 意味	①	②	③	④	その他
学研(4)	1	2	3	4	
岩波(2)	1 イ	1 ロ	2	1 ハ	
例解(1)	1				
現代(5)	3	1, 2	4	5	
三現(1)	1				
新明(2)	1	2			

IV-11-2. 形容主体を表す語彙（具体例より）

F11-B（実例の一覧表は紙幅の関係上省略する。）

IV-11-3. 各意味立項の意味特徴

- ①・語義：「質・量などのわりに」値段が低い。＜価値＜性状？
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体（N）：βモノ、γコト
 - ・イメージ：+
- ②・語義：不安や悩みなどがなく、心がおだやかである。また、心身に無理がなく、楽である。＜心様＜性向
- ・格体制・必須要素：[N 2 ガ（は）N 1 ガ]
 - ・典型的形容主体（N 2）：αヒト
 - ・典型的属性主（N 1）：心、気持ち＜ウ事＜γコト
 - ・イメージ：+
- ③・語義：軽々しい。おそまつだ。下品だ。＜性向？
- ・格体制・必須要素：[Nガ]
 - ・典型的形容主体（N）：αヒト
 - ・イメージ：-
- ④・語義：男女が特別の間柄にあるさま。また、それを冷やかして言う語。性質＜性向
- ・慣用句用法

- ・格体制・必須要素：〔(Nガ)〕
- ・典型的形容本体 (N)：α ヒト
- ・形態的制約：「お～くない」
- ・イメージ：－？

IV-12 「悪い」の辞書に見られる多義記述

(1) 「学研」3

ある現象が、なんらかの基準からはずれたりなんらかの要求に反したりするときに、その現象を、思わしくない、好ましくない。または望ましくない現象として評価するという語。

① [人に及ぼす作用・影響を評価する場合] 一般に、不都合である。適当でない。有害である。めいわくである。「その考え方は子供の教育の上に大変－・影響を」「－・ようには呉まいと」

② [感知し得る物事の状態を評価する場合]

イ. [特に人の状態に関する場合。]「みんな調子が－・った」「あと味が－・った」

- a. [考え方・行動などが] 道徳・法律その他の社会的規範に照らし合わせて好ましくない。
- b. 能力的に劣っている。
- c. 顔・体などの外見が劣っている。美しくない。みにくい。
- d. 心の状態が通常とちがって思わしくない。
- e. 体の調子が通常とちがって思わしくない。
- f. 運・環境・状況などが好ましくない。

ロ. [特に物の状態に関する場合。]「道が－・い」「食べ物が－・い」「－・い品物」「－・い装備で」

ハ. [特に自然現象・社会現象などに関する場合。]「制度が－・い」「政治が－・い」「天気－・い」「日が－・い」「予備校生の評判は～きわめて－・く」

③ [特に、会話文中で、こちらの行為が相手に対してめいわくや不都合な影響を及ぼすことを言う場合] 気の毒である。申しわけない。「おやめさせちゃー・わ」

「ひどい言葉を使って－・った」「ほかの会社に－・いみたい」

(2) 「岩波」1 ①よくない。

(3) 「例解」7

①道徳的によくない。けしからん。②めぐりあわせがよくない。③質がよくない。力がおとっている。

④よく機能していない。順調でない。さしさわりがある。⑤接した感じがよくない。⑥正常でない。おちどがある。欠陥がある。⑦すまない。申しわけない。

(4) 「現代」3 ①一般に関心しない。好ましくない。②特に、道徳上よくない。③相手に申し訳がない。すまない。

(5) 「三現」10

①正しくない。②正常でない。③このましくない。④むつまじくない。円満でない。⑤害をあたえる状態だ。⑥おとっている。⑦不吉である。⑧はたらきや状態がふつうでない。⑨きのどくである。⑩食べ物がいたんでいる。

(6) 「新明」5

①道徳的に責められる様子だ。②好ましくない結果をもたらす様子だ。③好ましくない様子だ。④標準より劣って・(基準からはずれて)いる状態だ。⑤正常な・働き(状態を)失っている様子だ。

IV-12-1. 各辞書類の意味立項配列

F12-A 各辞書に見られる意味立項の分布

- ① [人に及ぼす作用・影響を評価する場合] 一般に、不都合である。適当でない。有害である。めいわくである。
- ② [感知し得る物事の状態を評価する場合]
- イ. [特に人の状態に関する場合。]
- [考え方・行動などが] 道徳・法律その他の社会的規範に照らし合わせて好ましくない。
 - 能力的に劣っている。
 - 顔・体などの外見が劣っている。美しくない。みにくい。
 - 心の状態が通常とちがって思わしくない。
 - 体の調子が通常とちがって思わしくない。
 - 運・環境・状況などが好ましくない。
- ロ. [特に物の状態に関する場合。]
- ハ. [特に自然現象・社会現象などに関する場合。]
- ③ [特に、会話文中で、こちらの行為が相手に対してめいわくや不都合な影響を及ぼすことを言う場合] 気の毒である。申しわけない。

辞書	意味	①	②	③	その他
学研 (3)		1	2	3	
岩波 (1)		1	1		
例解 (7)		2	1, 3, 4, 5, 6	7	
現代 (3)		2	1	3	
三現 (10)		5	1, 2, 3, 4?, 6, 8, 10	9	
新明 (5)			1, 2, 3?, 4, 5		

IV-12-2. 形容主体を表す語彙 (具体例より)

F12-B (実例のの一覧表は紙幅の関係上省略する。)

IV-12-3. 各意味立項の意味特徴

ある現象が、なんらかの基準からはずれたりなんらかの要求に反したりするときに、その現象を、思わしくない、好ましくない。または望ましくない現象として評価するという語。

- ①・語義：[人に及ぼす作用・影響を評価する場合] 一般に、不都合である。適当でない。有害である。めいわくである。
- ・語義範疇：評価? < 性状
 - ・格体制・必須要素：[N1ガ(は)N2ニ]
 - ・典型的形容主体 (N1)：βモノ、γコト
 - ・典型的対象 (N2)：人おびその部位・活動 < αヒト、γコト
 - ・イメージ：-
- ②・語義：[感知し得る物事の状態を評価する場合]
- イ. [特に人の状態に関する場合。]

a. 考え方・行動などが] 道徳・法律その他の社会的規範に照らし合わせて好ましくない。b. 能力的に劣っている。c. 顔・体などの外見が劣っている。美しくない。みにくい。d. 心の状態が通常とちがって思わしくない。e. 体の調子が通常とちがって思わしくない。f. 運・環境・状況などが好ましくない。

ロ. [特に物の状態に関する場合。] ハ. [特に自然現象・社会現象などに関する場合。]

- ・ 語義範疇：＜評価＜性状
- ・ 格体制・必須要素：[N1ガ(は) N2ガ]
- ・ 典型的形容本体(N1)：αヒト、βモノ、γコト
- ・ 典型的形容属性主(N2)：βモノ、γコト
- ・ イメージ：-

③・ 語義：[特に、会話文中で、こちらの行為が相手に対してめいわくや不都合な影響を及ぼすことを言う場合] 気の毒である。申しわけない。

- ・ 語義範疇：??<??
- ・ 格体制・必須要素：「??」
- ・ 典型的形容主体：??
- ・ イメージ：-
- ・ 直接的ムード表出
- ・ 働きかけ(謝罪)文
- ・ 会話文中

【V】形容詞多義語(基本的形容詞12語)に見られる第1義の優位的意味特徴

V-1. 各語各義の意味特徴一覧

F1. 「新しい」の各クラスタ(多義)別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	時間<性状	ガ	-	+	/	-	+	
②	時間<性状	ガ	-	+	+	-	+	
③	時間<性状	ガ	-	+-	/	-	+	
④	身容、才能<性向	ガ	+	+	/	-	+	
⑤	状態<性状	ガ	-	+-	/	-	+	

注：ガ格成分とは、形容主体又は形容本体のことを指している。

F 2. 「甘い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	甘み<味覚<感覚<性向	ガ	-	+	/	-	+	
	甘み<味覚<刺激<性状	ガ	-	+	/	-	+	
②	塩味<味覚<感覚<性向	ガ	-	+	+	-	+ -	
	塩味<味覚<刺激<性状	ガ	-	+	+	-	+ -	
③	甘臭<臭覚<感覚<性向	ガ	-	-	+	-	+	
	甘臭<臭覚<刺激<性状	ガ	-	-	+	-	+	
④	状態<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	+	
⑤	状態？<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	+	
⑥	心様<性向	ガ	(-)	-	/	-	+	
⑦	対人態度<態度<性向	ガ ニ	+	+	/	+	-	
⑧	性質<性向	ガ (ニ	+	+	/	-	-	
⑨	態度？<性向	ガ？	+	+	/	+	-	
⑩	評価？<性状	ガ	-	(-)	+	-	-	
⑪	状態？<性状	ガ	-	(-)	/	-	-	

注：意味特徴における（ ）は、本体又は所有者のそれであることを示している。（以下同じ）

：「？」は、判定の判断しがたいものであることを示す。（以下同じ）

：意味限定は、①を基準にしている。（以下同じ）

：核支配における「(に)」は、実際の用例においては「に」の格助詞を伴うことが多いことを示している。（以下同じ）

F 3. 「大きい」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	<形状<性向	ガ	+ -	+	/	-	+ -	
②	<数量<性状	ガ	-	-	+	-	+ -	
③	状態・形状？<性状	ガ	-	-	/	-	+ -	
④	身体・才能<性向	ガ	+	+	/	-	+	
⑤	評価<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	+	
⑥	性質・心様<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	+	
⑦	態度<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	-	

F 4. 「重い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	感覚<性向	ガ	+	+	/	-	-	
	実質<性状	ガ	+	+	/	-	+ -	
②	心様<性向	ガ	(+)	(+)	/?	+	-	
③	程度<性状	ガ	-	-	/	-	+ -	
④	性質<性向	ガ	(+)	(+)	/	+	-	
⑤	性質<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	-	
⑥	評価<性状	ガ	(+)	(+)	/	-	+	
⑦	刺激<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	+	
⑧	刺激<性状	ガ	-	-	/?	-	+ -	

F 5. 「可愛い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	感情<性向	ガ	+	+	/	-	+	
	身体<性向	ガ	+	+	/	-	+	
②	感情<性向	ガ	(+)	(+)	+	-	+	
	態度・性質<性向	ガ	(+)	(+)	+	-	+	
③	感情<性向	ガ	+	+	/	-	+	
	状態<性状	ガ	+	+	/	-	+	

F 6. 「寂しい」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			<ANI>	<CON>	強限定			
①	感情<性向	ガ	+	+	/	-	-	
	態度?<性向	ガ	+	+	/	-	-	
②	状態<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	-	
③	状態<性状	ガ	-	-	/	-	-	

F 7. 「高い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	位置<性状	ガ	+ -	+	/	-	+ -	
②	位置?形状<性状	ガ	+ -	+	/	-	+ -	
③	境遇<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	+	
④	才能<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	+	
⑤	性質<性向	ガ	(+)	(+)	/	-	+	
⑥	評価<性状	ガ	-	-	/	-	+	
⑦	程度<性状	ガ	+ -	-	/	-	+ -	
⑧	刺激<性状	ガ	-	-	/	-	+ -	
⑨	評価<性状	ガ	+ -	-	/	-	+	
⑩	価値<性状	ガ	-	(-)	/	-	+ -	
⑪	態度<性向	ガ	+	(-)	/	+	-	

F 8. 「強い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	能力<性向	ガ	(+)	-	/	-	+	
②	身容<性向	ガ	(+)	-	/	-	+	
③	性質<性向	ガ	(+)	-	/	-	+	
④	状態<性状	ガ	-	-	/	-	+	
⑤	状態<性状	ガ	-	-	/	-	+ -	
⑥	態度<性向	ガ	(+)	-	/	+	+ -	
⑦	能力<性向	ガ・二	+	-	/	+	+	

F 9. 「無い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	数量?<性状?	ガ	-	+ -	/	-	+ -	
②	数量?<性状?	ガ・二	(+)	(+)	/	-	+ -	
③	数量?<性状?	ガ	+	+	/	-	-	

F10. 「難しい」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	状態<性状	ガ	-	+ -	/	-	-	
②	状態<性状	ガ	-	+ -	/	-	-	
③	身体<性向	ガ	+	+	/	-	-	
④	性質<性向	ガ(ニ)	+	+	/	-	-	
⑤	態度・性質<性向	ガ	+	+	/	-	-	

F11. 「安い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	価値<性状	ガ	-	+ -	/	-	+ -	
②	心情?感情?<性向	ガ	(+)	+ -	/	-	+	
③	性質?<性向	ガ	+	+	/	-	-	
④	性質<性向	ガ	(+)	+	/	+	+ -	

F12. 「悪い」の各クラスタ（多義）別意味特徴一覧

	語義領域	格支配	ガ格成分の意味特徴			形態的 強制限	イメージ	その他
			〈ANI〉	〈CON〉	強限定			
①	評価<性状	ニ)ガ	-	+ -	/	-	+	
②	評価<性状	ガ	+ -	+ -	/	-	+	
③	*表出	ガ	?	?	/	+	+	慣用句

V-2. 形容詞多義語における第一義の優位的意味特徴

V-2-1. 他の語との関わりにおいて注目したい各語の第一義の意味特徴

(1) 「新しい」 第一義を「学研」の意味立項順に従うか否かで議論のあるものである。

しかし、①③の何れを第一義とするに関わらず次の傾向は言えよう

ア. 形容主体の語義

語義領域大(→②)

(2) 「甘い」

ア. 形容詞語義の特徴：語義領域大

感覚(①②③→④~⑩)

イ. 形容主体・対象の意味特徴：語義的限定小(→②③)

(3) 「大きい」

ア. 形容詞語義：語義領域領域大

イ. 形容主体(形容対象)の語義：語義領域領域大

- (4) 「重い」
 - ア. 形容詞語義：感覚
 - イ. 形容主体・対象の語義特徴：語義領域大
- (5) 「可愛い」
 - ア. 形容詞語義：感情
- (6) 「寂しい」
 - ア. 形容詞語義：感情（→性状）
- (7) 「高い」
 - ア. 形容詞語義：位置（性状内）
 - （注：①と②については、様々な考え方があろうが。①の位置としての捉え方がより対象が広がるように思われる。）
- (8) 「強い」
 - ア. 構文：構文的制限小
 - （注：第一義～第三義については要検討）
- (9) 「無い」
 - （注：「いる」との関係があり単純に扱えない。今後の課題である。）
- (10) 「難しい」 第一義の優位的意味特徴
 - ア. 構文的制限：小
- (11) 「安い」
 - ア. 形容詞語義：価値？
 - イ. 形態的制約：形態的制約小
 - ウ. 慣用句性：小
- (12) 「悪い」
 - ア. 形容詞語義（評価）における、悪影響の受け手： 人（→物、事）
 - イ. 語用的制限： 語用的限定小（→会話）

V-2-2. 形容詞多義語に見られる第一義の優位的意味特徴

- (1) 形容詞の語義特徴
 - ◎語義領域大
 - ◎「感覚」又は「感情・心情？」の優位性（→性状又は性向）
- (2) 形容主体、本体、所有主の語義特徴
 - ◎語義領域大
- (3) イメージ（好ましく感じられるか、その逆か。）
 - ◎イメージの中立性（？）
- (4) モダリティ的（表現類型的）限定
 - ◎限定小
- (5) 構文（格支配のことではない）
 - ◎構文的制約小
- (6) 形態
 - ◎形態的制約小

- (7) 語用論的制約
 - ◎語用論的制約小
- (8) 慣用句性
 - ◎慣用句性小

【終わりに】

かつて、性状に第一義を持つ形容詞を対象として、形容詞の意味立項について調査した。そして、第一義は次のような語義範疇の左側に位置する傾向のあることを指摘した。

①位置②形状③実質④刺激⑤状態⑥数量⑦時間⑧類型⑨程度⑩価値⑪評価

今回は性向を第一の語義として持つものをも含めて見てきた。その結果、形容詞の語義範疇としての『感覚』、『感情・心情?』が第一義の意味特徴として優位性を持つことが示唆された。そのためこれらの意味特徴を『性状』、『性向』とは別なものとして認める必要性を感じている。

紙幅の関係から分析資料と結論のみを示す結果となった。詳述は稿を改めたい。

【用例出典一覧】

中学校教科書光村国語1、中学校教科書光村国語2、中学校教科書光村国語3、高校教科書東京書籍 新編国語Ⅰ、高校教科書東京書籍 新編国語Ⅱ、高校教科書東京書籍 新編現代文、高校教科書東京書籍 現代文、高校教科書東京書籍 国語Ⅰ、高校教科書東京書籍 国語Ⅱ、高校教科書三省堂 新編国語、高校教科書三省堂 現代文、高校教科書三省堂 明解国語Ⅰ、高校教科書三省堂 明解国語Ⅱ、高校教科書三省堂 新編国語Ⅰ、高校教科書三省堂 新編国語Ⅱ、高校教科書三省堂 国語Ⅰ、高校教科書三省堂 国語Ⅱ、他

【多義記述例引用および参考辞書類】

- (1) 『学研国語大辞典』金田一、池田 編(1978)
- (2) 『岩波国語辞典』第3版 水谷、岩淵、西尾編(1979)
- (3) 『例解新国語辞典』林、野元、南 編(1984)
- (4) 『現代国語例解辞典』林 編(1985)
- (5) 『三省堂現代国語辞典』市川他編(1988)
- (6) 『新明解国語辞典』第4版 金田一他(1989)
- (7) 『三省堂国語辞典』第4版 見坊主幹(1992)
- (8) 『新潮現代国語辞典』山田、築島藤、奥田 編(1985)
- (9) 『日本語大辞典』講談社(1989)
- (10) 『光村国語学習辞典』光村図書出版(1992)
- (11) 『現代形容詞用法辞典』飛田、浅田共著(1991)
- (12) 『外国人の基本語用例辞典』文化庁(1971)
- (13) 『基礎日本語』1、2、3 森田 良行(1977, 1980, 1984)
- (14) 『計算機用日本語基本形容詞辞書 I P A L (Basic Adjectives)』情報処理振興事業協会(1990)
- (15) 『形容詞の意味用法の記述的研究』国立国語研究所 西尾寅弥(1972)

【引用・参考文献】

- (1) 奥田 靖雄 (1967) 「語彙的な意味のあり方」(『教育国語』8号)
- (2) 国広 哲弥 (1970) 「日本語次元形容詞の体系」(『言語の科学』2号)
- (3) G. Leech (1974) "Semantics" (『現代意味論』安藤監訳1977)
- (4) E. A. Nida (1975) 『意味の構造-成分分析-』(升川 潔 訳 1977.4)
- (5) 池上 嘉彦 (1975) 「多義語の構造」(『意味論』)
- (6) 池上 嘉彦 (1977) 「意味の体系と分析」(『岩波講座日本語9 語彙と意味』)
- (7) 国広 哲弥 (1982) 「第3章 多義と同音意義」(『意味論の方法』97~14p)
- (8) 萩野 綱男 (1983) 「I, シソーラスについて」(『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究-5』pp 4~61)
- (9) 『計算機用日本語基本形容詞辞書 IPAL (Basic Verbs) -解説編-』情報処理振興事業協会 (1990)
- (10) 国広 哲弥 (1986) 「語義研究の問題点-多義語を中心として-」(『日本語学』1986.9)
- (11) 萩野孝野 (1987) 「日本語の意味分類体系」(『計量国語学』16-3)
- (12) 情報処理振興事業協会 (1990) 『ソフトウェアのための日本語処理の研究10』
- (13) R. F. Schmidt (1986) "Fundamentals Sensory Physiology" (岩村他訳 (1989) 『シュミット 感覚生理学』)
- (14) 仁田 義雄 (1991) 『日本語のモダリティと人称』
- (15) 萩野 綱男 (1993) 「現代日本語シソーラスから見た語彙の意味分類」(『平成4年度科学研究補助一般研究(C) 研究成果報告書 研究代表萩野綱男』)
- (16) 丹保 健一 (1990a) 「多義語における語義配列について- 形容詞語彙(性状)をめぐって-」(『三重大学教育学部研究紀要第41巻(人文・社会科学)』)
- (17) 丹保 健一 (1990b) 「五感語彙の多義性-多義の意味的広がりをめぐって-」(『金沢大学語学・文学研究』第19号)
- (18) 丹保 健一 (1990c) 「形状形容詞の語義分割をめぐって」(『国語学研究』30)
- (19) 丹保 健一 (1991b) 「多義語における語義の区切り方をめぐって-位置形容詞「高い」「低い」「遠い」「近い」の場合-」(『三重大学教育学部研究紀要第42巻(人文・社会科学)』)
- (20) 丹保 健一 (1992a) 「多義語における語義の区切り方をめぐって-刺激、数量、状態、性向を表す形容詞の場合-」(『三重大学教育学部 研究紀要第43巻(人文・社会科学)』)
- (21) 丹保 健一 (1994) 「現代日本語形容詞の多義構造-形容詞多義語における第一義の条件-」(『三重大学教育学部研究紀要第44巻(人文・社会科学)』)
- (22) 丹保 健一 (1994) 「形容詞多義語における語義の分布について」(『国語論考』4)